



松江第一中学校だより

江戸川区立松江第一中学校
江戸川区松江5-5-1
校長 瀬戸 完一
令和8年2月20日 第10号

すべての生徒が安全・安心に生活し、夢や希望に邁進できる学校を築く

「なすことによって学ぶ」 ～経験を力に～

校長 瀬戸 完一

「なすことによって学ぶ」と言われるように、人は経験したことから学ぶことが多く、それをもとに自分の考えを深め、行動していくことで更に成長していきます。将来の変化を予測することは難しいですが、社会の変化に受け身で対処するのではなく、自分の可能性を最大限に発揮し、他者と協力しながらよりよい社会を創り出すことが求められています。

学びの中には実際に体験する中で育まれる力もあります。様々な体験や新たなことに挑戦する経験は自分の世界を広げ、できることの楽しさを肌で感じます。特に「本物」に触れる体験は大きく成長する機会でもあります。大自然の中で花の香りや木々の色の変化、そよ風を感じるなどの自然体験、歴史的建造物を目の当たりにして重厚さを味わい感動する、様々な人との出会いや触れ合いなど、体験は人の心を豊かにし、想像力を高めるだけでなく、今の自分自身を見つめ直す機会にもなるでしょう。このような経験は自分が学習してきた知識と繋がり、感性や好奇心を揺さぶります。生きた理解は深い学びと繋がっていくのです。自分の学びを家族や友人らと共有することはとても良いことです。思いや考えを言葉にすることは語彙力を高め、表現力を鍛えることになります。また、更なる学びの力を生み出すきっかけにもなるでしょう。関連することを調べ始める人もいるでしょう。読書をしたり、情報を集め整理したり、関連する場所を訪れてみたりと、学びの世界はどんどん広がっていきます。自分自身の探求心を育て、主体的な学びに繋がっていきます。

しかし、体験は特別な日のことだけではありません。日常の生活が支えとなっているのです。私たちの時間は一瞬から次の一瞬に動いています。その一瞬の集まりが日常となり、自分の人生となります。日常の生活から自分自身に気づき、周囲からの助言を受け入れ、他者の優れたところを吸収するなどして、考え方、姿勢、行動を変えていくこともできます。

「なすことによって学ぶ」ことは、新たな成長の入口とも言えるでしょう。

私は「+1（プラスワン）」の考えをいつも大事にしています。もう一つやってみよう、もう一回挑戦してみよう、自分なりの工夫を一つ考えて行動してみようと思っています。何事も自分で考え、一歩踏み込んで行動することは、自身の力を今よりも高め、成長することに繋がると思っています。自分に何ができるのかを考え、行動していくことは私が経験から学んだ一つでもあります。